

超音波血流計 ドップレックス D900

取扱説明書



管理医療機器（特定保守管理医療機器）
認証番号：229ADBZX00062000
販売名：超音波血流計 ドップレックス

はじめに

この度は、超音波血流計 ドップレックス D900 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
 本取扱説明書は、超音波血流計 ドップレックス D900 の正しい取扱方法について説明しています。

超音波血流計 ドップレックス D900 を正しくご活用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。

※ お読みになった後は、お使いになるときにいつでも見られるよう、大切に保管してください。

目次

1.	安全上の警告、禁忌・禁止、注意	2
2.	製品概要と各部・付属品の名称・構造	5
2.1	構成品内容	5
2.2	各部の名称・構造	7
3.	一般的な使用方法とその注意事項	10
3.1	基本操作	10
3.2	データ出力端子及びキャリブレーションボタンの使用方法	12
3.3	使用後	13
4.	医療機器の清掃、保管方法、消耗品の交換に関する事項	14
4.1	清掃及び消毒方法	14
4.2	保管方法	14
4.3	電池交換	15
5.	保守点検に関する事項	16
5.1	使用者による保守点検事項	16
5.2	業者による保守点検事項	16
6.	トラブルシューティングに関する事項	16
7.	技術仕様	17
8.	アフターサービスとその連絡先に関する事項	21
9.	保証	22

1. 安全上の警告、禁忌・禁止、注意

使用する前に、この「安全上の警告、禁忌・禁止、注意」を、よく読んで、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を安全かつ適正に使用して、使用者等への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※ 危害や損害の大きさと切迫の程度を明確にするため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「禁忌・禁止」「注意」の三つに区分して示しています。

図記号の例	
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示します。
 禁忌・禁止	人が死亡または重症を負うことが想定されるため、避けるべき患者や使用方法を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
 ポイント	使用上のポイントや、確認が必要なことを示します。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 禁忌・禁止

1. 当社のプローブ（別売品）以外の組み合わせで使用しないでください。他社のプローブを接続できた場合であっても、性能及び安全性を保証できません。また正しい測定結果を表していないおそれがあります。
2. 可燃性ガス及び高濃度酸素雰囲気内では使用しないでください。また、高圧酸素治療器と併用しないでください。爆発又は火災の発生のおそれがあります。
3. 強磁場環境下では使用しないでください。電磁障害の影響を受ける可能性があります。
4. 本品を滅菌しないでください。機器の破損等のおそれがあります。
5. 本品を清潔領域／術野で使用しないでください。
[清潔領域での使用を意図していません。]
6. 眼球及び眼球付近に使用しないでください。
[本品の超音波出力強度は眼球への使用を保証できません。]
7. 胎児用プローブ以外は胎児に使用しないでください。
[胎児に悪影響を与えるおそれがあります。]

 注意

1. 本品は、血流速度の測定をして、血管内の血流評価の支援に使用される装置です。使用目的以外に使用しないでください。
2. 本品に熟練した人以外は使用しないでください。
3. 本体は防水仕様ではありません。液体に浸したり濡らしたりしないでください。また、プローブを水中で使用しないでください。
[内部の電気回路がショートする等、故障の可能性があります。]
4. 創傷部に使用しないでください。[感染の恐れがあります。]
5. 落としたり、硬いものにぶついたり、衝撃を与えたりしないでください。
[故障又は破損する可能性があります。]
6. 本品に損傷等の異常がある場合は、使用しないでください。
7. 本品の周囲に測定時の音を遮るものがないことを確認してください。
8. 使用時にノイズが発生する場合は、原因となる機器の電源を切るか、ノイズが発生しない距離まで離してから測定してください。
9. 長時間の使用は避けてください（ALARA ガイドラインによる）。
10. 本品の測定データのみで患者の状態を判断せず、臨床上の症状や他の検査結果等と合わせて、総合的に判断してください。
11. 分解や修理、改造を行わないでください（電池交換は除きます）。
[事故や故障の可能性があります。]
12. 本品に異常が見られた場合は、使用を停止し適切な措置を取ってください。

2. 製品概要と各部・付属品の名称・構造

本品は皮膚表面から血流速度の測定をして、血管内の血流評価の支援に使用される装置です。
本品は、各血管に最適な周波数のプローブ（別売品）を接続して使用します。

2.1 構成品内容

(1) 本体セット

« 本体 »



« 付属品 »



超音波検査用ゲル



9V 角型アルカリ乾電池



ヘッドフォン



キャリーバッグ

本体セット

注文コード	品番	商品名
M80-000-01	D900	ハントレー 超音波血流計 ドップレックス D900,9V 角型×1

補充品

注文コード	品番	商品名
M00-000-05	01-02	アクアソニック 100 ゲル,60g チューブ

(2) プローブ (別売品)



プローブ先端部材質：ポリスチレン

*) 管理医療機器 (特定保守管理医療機器)

認証番号：302ADBZX00033000

販売名：超音波血流計 ドップレックス DMX

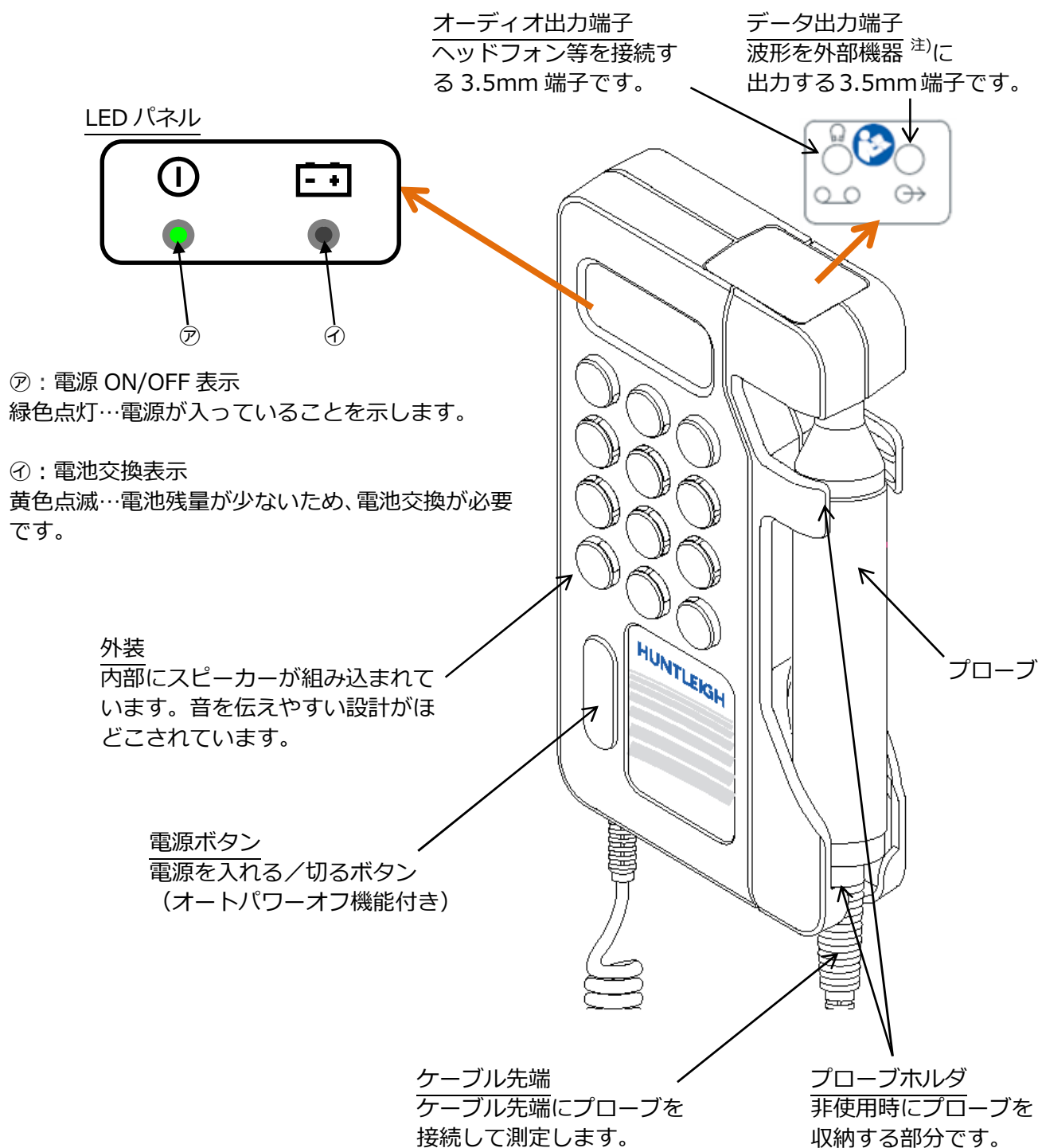
プローブ (別売品)

注文コード	品番	商品名
M80-000-13	VP4XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ VP4XS,4MHz
M80-000-14	VP5XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ VP5XS,5MHz
M80-000-15	VP8XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ VP8XS,8MHz
M80-000-16	VP10XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ VP10XS,10MHz
M80-000-17	EZ8XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ EZ8XS ワイドビーム,8MHz
M80-000-18	OP2XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ OP2XS,2MHz
M80-000-19	OP3XS	ハントレー ドップレックス専用プローブ OP3XS,3MHz

2.2 各部の名称・構造

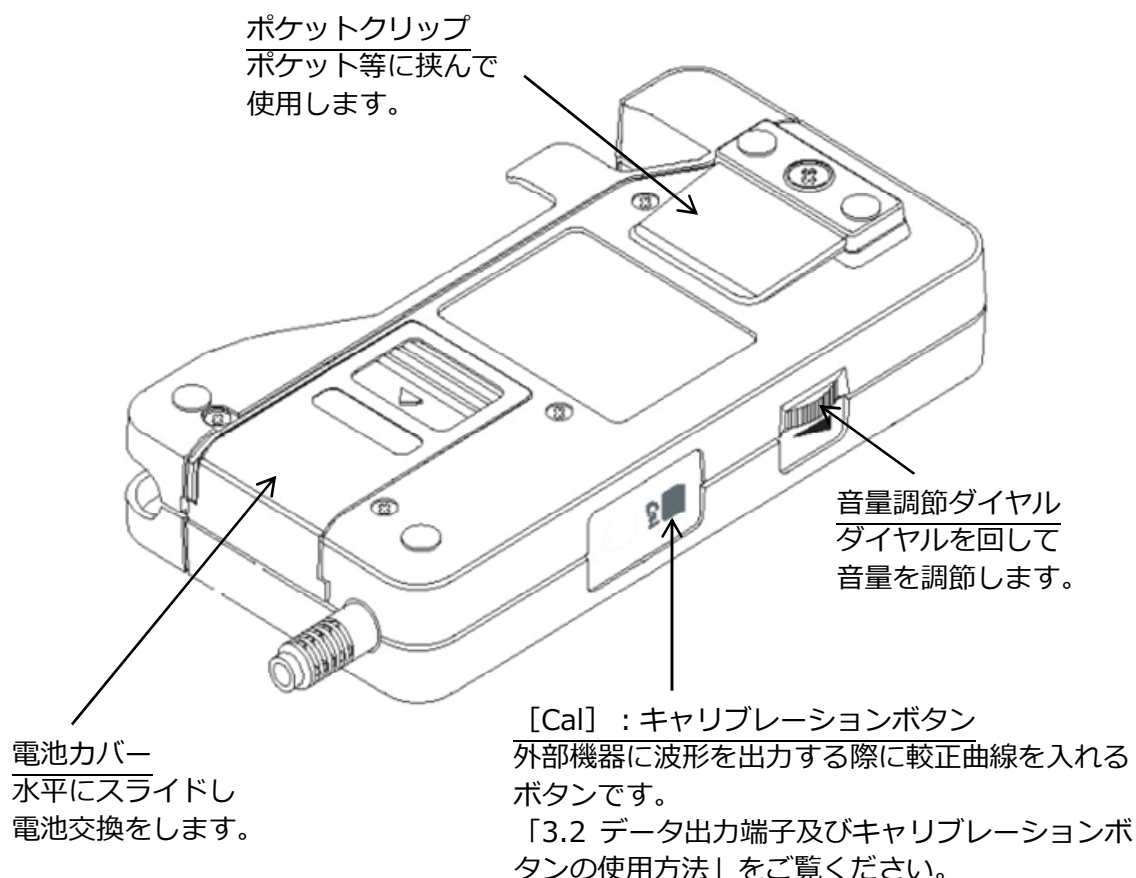
(1) 本体

[前面及び上面]



注) 使用できる外部機器の情報は「3.2 データ出力端子及びキャリブレーションボタンの使用方法」をご覧ください。

〔側面及び背面〕



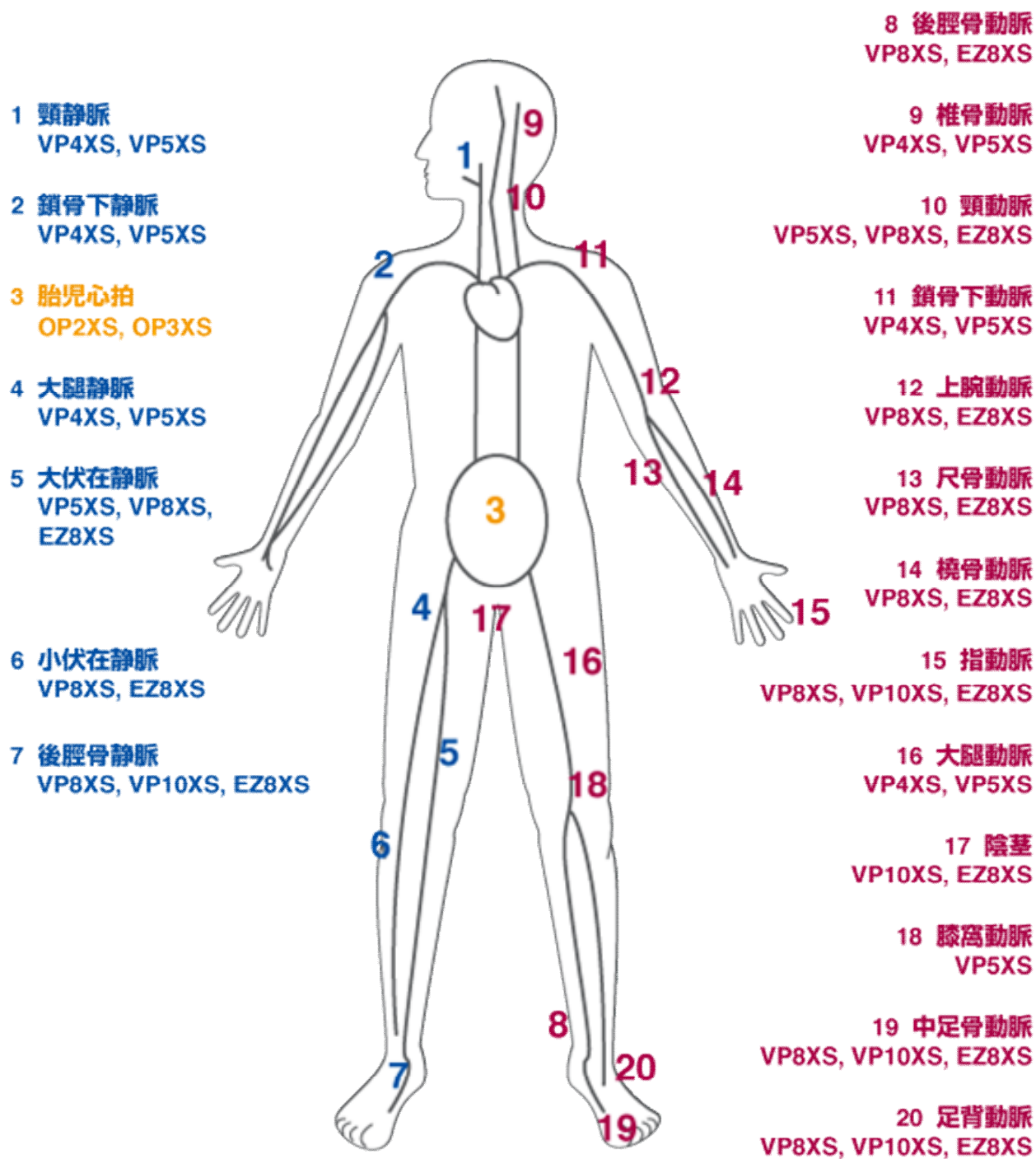
(2) プローブ

本体のケーブル先端に各プローブを接続して使用します。〔各プローブの測定目安情報〕及び〔測定箇所別推奨プローブ情報〕を参照して、適宜プローブを選択してください。

〔各プローブの測定目安情報〕

プローブの種類	周波数	各プローブの測定目安
VP4XS	4MHz	深部の動脈・静脈の検出
VP5XS	5MHz	中深部の動脈・静脈の検出、四肢浮腫
VP8XS	8MHz	末梢血管、石灰化動脈等の検出
VP10XS	10MHz	表在血管への専門的応用
EZ8XS	8MHz	末梢血管、石灰化動脈等の検出 (ワイドビームが血管位置の特定を容易にします。)
OP2XS	2MHz	胎児用 (目安：妊娠 10～40 週)
OP3XS	3MHz	胎児用 (目安：妊娠 8～28 週)

[測定箇所別推奨プローブ情報]



ポイント

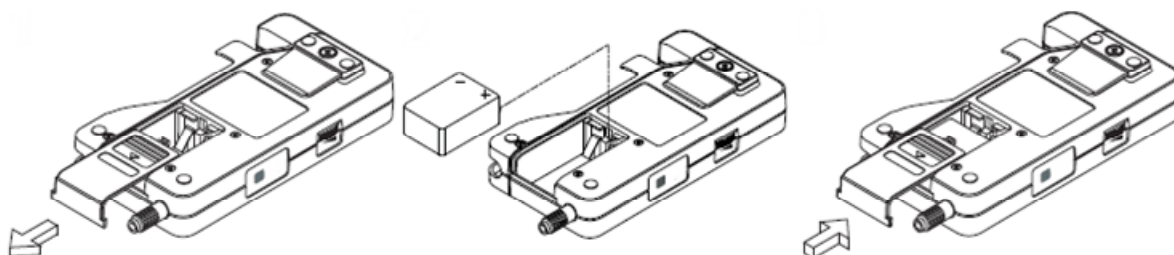
測定箇所に応じたプローブを選択してください。

3. 一般的な使用方法とその注意事項

3.1 基本操作

(1) 電池の挿入

- 1) 本体裏面の電池カバーの▽部を押さえ矢印の方向に水平にスライドさせてカバーを取り外します。
- 2) 付属の電池（9V 角型アルカリ乾電池）を極性（+/-）を間違えないように挿入します。
- 3) 電池を押さえながら電池カバーを元に戻します。



(2) プローブの取り付け

図のようにプローブを取り付けます。

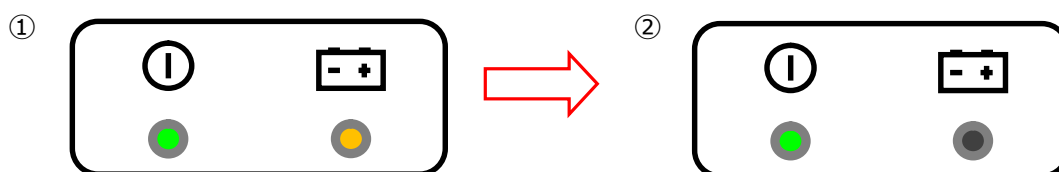


👉ポイント

- 1) 必ず電源が切れていることを確認してから、プローブを接続してください。
- 2) ケーブル先端の矢印マーク「▷」をプローブのスロットに合わせ、しっかりと差し込んでください。
- 3) 使用するプローブは、「2.2(2) プローブ」を参照して選択してください。

(3) 電源を入れる

電源ボタンを押します。①LEDパネルの電源 ON/OFF 表示が緑色、電池交換表示が黄色に表示された後、②電池交換表示の点灯が消えたことを確認してください。



(4) 測定する

1) 測定部位に超音波検査用ゲルを塗布します。

2) プローブを皮膚表面からあてます。

【4MHz,5MHz,8MHz,10MHz プローブを接続した場合】

測定対象の血管にプローブを 45°に傾けて軽く押しあてます。

【2MHz,3MHz(胎児用)プローブを接続した場合】

胎児の位置を確認しながら母体腹部にプローブ先端の面を密着させます。

3) 測定音が最も大きくなる位置にプローブを移動させ維持します。

4) 動脈血流の場合は拍動音が、静脈血流の場合はザーという非拍動音が聴こえます。

5) 音量調節ダイヤルを回して、最適な音量に設定します。

6) 必要に応じ、ヘッドフォン等をオーディオ出力端子に差し込んで使用します。

ポイント

- 1) 測定には水溶性の超音波検査用ゲルを使用してください。
- 2) 本体に液体が付着しないように気をつけてください。
- 3) 音による診断のみ可能です。

(5) 電源を切る

電源ボタンを押して電源を切ります。

〔オートパワーオフ機能〕

電源を入れたままの状態でもオートパワーオフ機能により自動的に電源が切れます。

ポイント

- 1) 測定後は電池消耗を防ぐため、速やかに電源を切ってください。
- 2) 電源を入れた後 5 分経過すると、オートパワーオフ機能によって、使用している・いないに係わらず、自動的に電源が切れます。

3.2 データ出力端子及びキャリブレーションボタンの使用方法

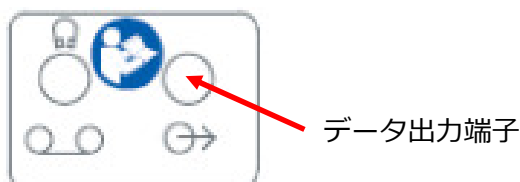
レコーダ/モニタ機能を持つ外部機器を接続して測定すると、波形を出力できます。キャリブレーションボタンで校正曲線を表示します。

ポイント

- 1) 外部機器として、JIS T 0601-1 又は IEC 60601-1 規格に適合し、DC 入力：10mm/0.5V, 不平衡型 100k Ω 以上の機能を持つ汎用心電計/多機能心電計等が使用できます。
- 2) 胎児用プローブを使用する場合は、本操作はできません。

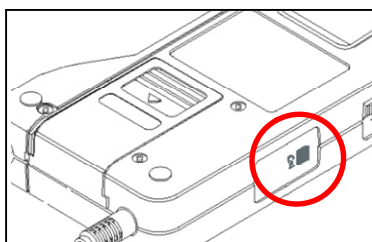
(1) 外部機器の接続

3.5mm 端子を持つケーブルを準備し、本体上面のデータ出力端子と外部機器を接続してください。



(2) キャリブレーションボタンの使用方法…校正曲線の表示

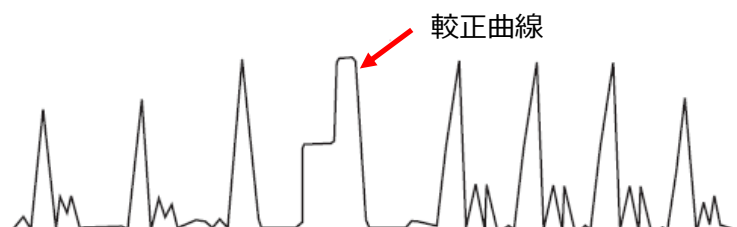
本体左側面の [Cal] : キャリブレーションボタンを押すと、外部機器に 2 段階の校正曲線が表示されます。



(3) 測定する。

測定を開始します。波形が表示されることを確認してください。

[外部機器に表示される波形イメージ]



ポイント

[Cal] を押し続けると校正曲線が繰り返し表示されます。
ボタン操作を止めると測定された波形の表示が再開されます。

3.3 使用後

- 1) 本体からプローブを取り外します。
- 2) 本体及びプローブの清掃・消毒は、「4.1 清掃及び消毒方法」に従って行います。
- 3) 保管は、「4.2 保管方法」に従って行います。

ポイント

- 1) 本体からプローブを取り外す時は、ケーブル先端を掴んでまっすぐ引っ張って下さい。（ケーブルを引っ張らないでください。）
- 2) 使用後は、汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、直ちに清掃・消毒をしてください。

4. 医療機器の清掃、保管方法、消耗品の交換に関する事項

4.1 清掃及び消毒方法

電源を切り、本体とプローブを取り外して清掃、消毒を行います。

ポイント

プローブを取り外す際は、ケーブル先端を持ってまっすぐ引っ張ってください。

(1) 本体

清掃方法

- 1) 水滴等は、きれいな乾いた布で表面を拭き取ります。
- 2) 70%アルコールを軽く含ませた布で拭き、乾いた布で乾拭きします。

消毒方法

プローブの消毒方法に従ってください。

(2) プローブ

清掃方法

- 1) 使用後は直ちに表面についた超音波検査用ゲルを乾いた布で完全にぬぐい取ります。
- 2) 薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を浸した布で拭き取り、乾いた布で乾拭きします。
- 3) 必要な場合は、70%アルコールを軽く含ませた布で拭き、乾いた布で乾拭きします。

消毒方法

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウムを含ませた布で拭き、数分置いた後、水に浸した布で拭き取り、乾いた布で乾拭きします。
- 70%アルコールをじゅうぶんに含ませた布で拭き、乾いた布で乾拭きします。
- 血液が付着した場合は、1%次亜塩素酸ナトリウムを含ませた布で拭き、数分置いた後、水に浸した布で拭き取り、乾いた布で乾拭きします。

4.2 保管方法

清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管してください。付属のキャリーバッグでの保管を推奨します。

ポイント

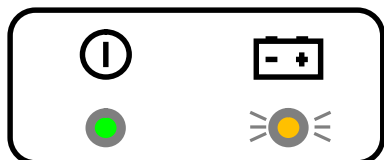
長時間使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。

4.3 電池交換

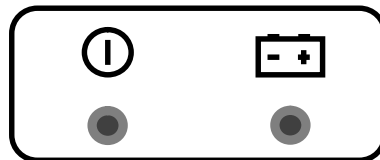
(1) 電池残量の目安

以下の場合には電池残量が少ないまたは無いため、正しく機能しません。できるだけ早く電池を交換してください。

- 1) 電池交換表示が
黄色点滅している場合

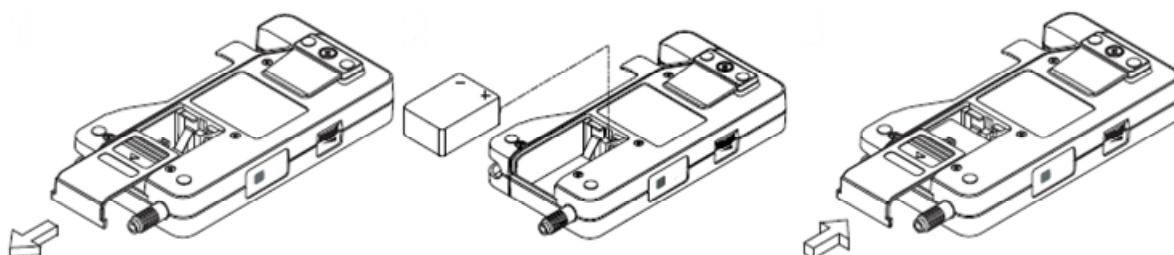


- 2) 電源を入れても、電源 ON/OFF 表示・
電池交換表示とも点灯しない場合



(2) 電池交換方法

- 1) 本体裏面の電池カバーの
▽部を押さえ矢印の方向
に水平にスライドさせて
カバーを取り外します。
- 2) 使用済みの電池を取り出し、
新品の電池を極性（+／-）
を間違えないように挿入し
ます。
- 3) 電池を押さえながら
電池カバーを元に戻
します。



👉 ポイント

電池は 9V 角型アルカリ乾電池を使用してください。

5. 保守点検に関する事項

5.1 使用者による保守点検事項

- 1) 使用前に必ず点検を行い、正常かつ安全な作動を確認してください。

点検項目	点検内容
外観	・亀裂や破損がないか ・汚れが付着していないか ・電池カバーが確実に閉まっているか
接続	・本体とプローブの接続が正常にできるか
基本動作	・電源ボタンは正常に動くか ・電源 ON が表示(LED パネルの緑色点灯)されているか ・電池の残量はじゅうぶんあるか ・音量調節ダイヤルは機能するか

- 2) 使用後は、汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、直ちに「4.1 清掃及び消毒方法」に従って清掃・消毒をしてください。

5.2 業者による保守点検事項

定期点検は、1 年に 1 回程度の実施を推奨しています（外観検査、機能検査等）。

6. トラブルシューティングに関する事項

症状		対応策
測定ができない	電池交換表示が点滅している	・「4.3(2) 電池交換方法」に従って電池を交換してください。
電源が入らない 又は 一瞬点灯して すぐ切れる	電池が入っていない	・「3.1(1) 電池の挿入」に従って電池を入れてください。
	電池が入っている	・電池の極性（+ / -）を確認し、電池を正しく入れ直してください。 ・「4.3(2) 電池交換方法」に従って電池を交換してください。
上記以外で機器が作動しない		・お買い上げの販売店に連絡してください。

7. 技術仕様

寸法	本体 (W×D×H)	74mm×27mm×140mm
	プローブ 寸法 (長さ×直径)	111mm×φ 19.3mm
質量 (含 : プローブ、電池)		約 295g
電撃に対する保護の形式による分類		内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類		BF 形装着部
水の有害な浸入又は微粒子状物質の有害な侵入に対する保護		本体 IP20 / プローブ IPX1
定格電源		DC9V (9V 角型アルカリ乾電池)
電池寿命		約 500 回 (1 分間/回 測定した時)
保管・輸送条件	周囲温度	-20～50℃
	湿度範囲	最大 90%
	周囲気圧	700～1060hPa
使用条件	周囲温度	5～40℃
	湿度範囲	15～90%RH (ただし結露のないこと)
	周囲気圧	700～1060hPa
耐用期間		7 年 [自己認証 (当社データ) による]

EMC 情報

EMC 情報は、電磁両立性（EMC）規格の要求で記載が義務付けられています。ご使用の際は本記載をよく読んでご使用ください。

警告

- ・本品は、電磁両立性（EMC）に関する特別な注意が必要です。本取扱説明書の記載に従って使用してください。
- ・当社指定以外の構成品、附属品、ケーブル、その他部品を使用すると、機器又はシステムのエミッションの増加又はイミュニティの低下を招く可能性があります。
- ・携帯形及び移動形の無線周波（RF）通信機器は、本品に影響を与えることがあります。
- ・本品は、他の機器と近接又は積み重ねた状態で使用しないでください。近接又は積み重ねた状態で使用することが必要な場合は、使用する配置で正常に動作することを確認してください。
- ・技術仕様欄に記載した測定範囲外で使用した場合に不正確な結果を生じるおそれがあります。

表 201－ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁エミッション

超音波血流計 ドップレックス D900 は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。超音波血流計 ドップレックス D900 の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－ガイダンス
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	超音波血流計 ドップレックス D900 は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いている。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	超音波血流計 ドップレックス D900 は、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	
電圧変動／フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	非適用	

表 202－ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁イミュニティ

超音波血流計 ドップレックス D900 は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。超音波血流計 ドップレックス D900 の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±6 kV 接触 ±8 kV 気中	±6 kV 接触 ±8 kV 気中	床は、木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。 床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30 %であることが望ましい。
電氣的ファスト トランジェント/ バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 電源ライン ±1 kV 入出力ライン	非適用	非適用
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV ライン－ライン間 ±2 kV ライン－接地間	非適用	非適用
電源入力ラインにおける電圧ディップ、 短時間停電及び 電圧変化 IEC 61000-4-11	<5%U _T (> 95%U _T のディップ) 0.5 サイクル間 40%U _T (60%U _T のディップ) 5 サイクル間 70%U _T (30%U _T のディップ) 25 サイクル間 <5%U _T (> 95%U _T のディップ) 5 秒間	非適用	非適用
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望ましい。

注記 U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

表 204－ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁イミュニティ

超音波血流計 ドップレックス D900 は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。超音波血流計 ドップレックス D900 の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz～80 MHz	3Vrms	携帯形及び移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む超音波血流計 ドップレックス D900 のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz～2.5 GHz	3 V/m	$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz～800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz～2.5 GHz ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、d は、メートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^{a)} によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{b)} における適合性レベルよりも低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。 

注記 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。

注記 2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は電磁波の伝搬に影響する。

注 ^{a)} 例えば、無線（携帯／コードレス）電話及び陸上移動形無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送及び TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。

固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。超音波血流計 ドップレックス D900 を使用する場所において測定した電界強度が上記の適用する RF 適合性レベルを超える場合は、超音波血流計 ドップレックス D900 が正常動作をするかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、超音波血流計 ドップレックス D900 の、再配置又は再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。

^{b)} 周波数範囲 150kHz～80MHz を通して、電界強度は、3V/m 未満であることが望ましい。

表 206 – 携帯形及び移動形 RF 通信機器と
超音波血流計 ドップレックス D900 との間の推奨分離距離

超音波血流計 ドップレックス D900 は、放射 RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。超音波血流計 ドップレックス D900 の顧客又は使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形 RF 通信機器（送信機）と超音波血流計 ドップレックス D900 との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。

送信機の 最大定格出力電力 W	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz～80 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80 MHz～800 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800 MHz～2.5 GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル（m）で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、 P は、送信機製造業者によるワット（W）で表した送信機の最大定格出力電力である。

注記 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。

注記 2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。

8. アフターサービスとその連絡先に関する事項

製造販売業者：

村中医療器 株式会社



〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目 8 番 2 号

TEL 0725-53-5546

9. 保証

保証規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、お買い上げ日より一年以内に故障した場合、無償修理いたします。
- 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷。
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 (ニ) 本書の提示がない場合。
 (ホ) 本書にお買い上げ日、お客様名、お買い上げ店名の記入のない場合あるいは字句を書替えられた場合。
 (ヘ) 消耗部品。
 (ト) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障及び損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

このたびは、超音波血流計 ドップレックス D900 をお買い求めいただきありがとうございました。本品は厳重な検査を行い、高品質を確保しております。しかし通常のご使用において、万一不具合が発生した場合は、保証規定により、お買い上げ日より一年間は無償修理いたします。

※製品の保証は日本国内での使用に限ります This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては必ず販売店にて記入捺印をお受けください。

商品名:超音波血流計 ドップレックス D900
 製造番号/記号:
 ご芳名

ご住所

TEL. ()

お買い上げ店名

印

住所

TEL. ()

お買い上げ日 年 月 日

製造販売業者:村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号 TEL 0725-53-5546